

お客様各位

内外インキ製造株式会社

大阪市福島区海老江8-10-1

製品安全データシートの送付および受領確認について

拝啓 貴社ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。
さて、今般下記製品の「製品安全データシート」をお送りいたします。
法令に従って弊社製品を安全にご使用いただくため、貴社の関係各位に本「製品安全データシート」の内容を充分周知いただきますようお願い申し上げます。

敬 具

製品名： GPアプラス OPニスシリーズ

整理番号 1009-12

なお誠に恐れ入りますが、今回お送りいたしました「製品安全データシート」を受領されましたら、下記の受領欄にご記入、捺印の上、弊社あてにFAXあるいはメール添付にてご返送いただきますよう、お願い申し上げます。

御検察の上、よろしくご配慮賜りますようお願い申し上げます。

=====
切り取らないでください
=====

宛先：内外インキ製造株式会社 宛
大阪市福島区海老江8丁目10番1号
FAX：06-6458-3808
e-mail：naigai@crux.ocn.ne.jp

「製品安全データシート」受領書

上記製品安全データシートを、確かに受領しました。

受領日：西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日

貴社名： _____

ご担当部署： _____

ご担当者名： _____ 印

製品安全データシート

1. 製品および会社情報

製品名	G P ア プ ラ ス O P ニ ス シ リ ー ズ (マ ッ ト O P ニ ス を 除 く) 該当製品は巻末にお示しします。
会社名	内外インキ製造株式会社
住所	大阪市福島区海老江8丁目10番1号
担当部門	研究部
電話番号	06-6458-1161 (代)
F A X 番 号	06-6458-3808
メールアドレス	naigai@crux.ocn.ne.jp
緊急連絡先	06-6458-1161
推奨用途および使用上の制限	オフセット枚葉印刷インキ
整理番号	1 0 0 9 - 1 2

2. 危険有害性の要約

G H S 分 類		
物理化学的危険性	引火性液体	区分外
健康有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入:気体)	分類対象外
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入:粉塵)	分類対象外
	急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	区分1
環境有害性	水生環境有害性(急性)	区分外
	水生環境有害性(慢性)	分類できない

G H S ラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	眼への刺激 飲み込み気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き

安全対策

容器を密封しておいてください。

保護手袋を着用してください。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。

取扱い後は手洗い、うがいを十分おこなってください。

応急措置

目に入った場合：直ちに多量の水で15分以上洗い流し、眼科医の手当を受けてください。

飲み込んだ場合：口をすすぎ、気分が悪い時は医師の診察を受けてください。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。

皮膚についた場合：多量の水と石鹼で洗ってください。

廃棄

内容物や容器は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託してください。

3. 組成および成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名または一般名：オフセット印刷インキ

成分名	含有率(%)
合成樹脂	25～35
植物油	30～40
鋳油	20～30
補助剤	1～10
合計	100

化学名	含有量(%)	化学式	官法公示No 化審法	CAS No.
鋳油 *	20～30	特定できない	非公開	非公開
コバルト及びその化合物 ※ *	0.5未満	—	8-630	61789-51-3

※：化学物質排出把握管理促進法第1種指定化学物質

*：労働安全衛生法通知対象物

毒劇法の該否：非該当

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)の該否：非該当

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)第1種指定化学物質の政令番号

化学名	施行令政令番号	PRTR法の該非
コバルト及びその化合物	132	含有1%未満で非該当

4. 応急措置

吸入した場合：直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移す。呼吸が困難な場合又は呼吸が停止している場合には、直ちに人工呼吸を行い、医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣服や靴等を脱がせ、付着部又は接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。もし皮膚に炎症やかゆみを生じた時は、医師の手当を受ける。

目に入った場合：直ちに多量の水で15分間以上洗い流し、眼科医の手当を受ける。

飲み込んだ場合：水で良く口の中を洗浄させる。吐き出させると気管に入ってかえって危険が増す。安静にし、直ちに医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：粉末、泡、二酸化炭素、乾燥砂、強化剤

消火方法：周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周辺に散水して冷却する。

着火した場合は、指定の消火剤を用いて消火する。

消火を行う者の保護：消火作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：

- ・風下の人を退避させる。漏洩した場所の周辺には、ロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。
- ・付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
- ・作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。屋内の場合には、処理が終わるまで十分に換気を行う。

環境に対する注意事項：濃厚な洗浄廃液が河川に排出しないよう注意する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材：漏洩した液は土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、密閉可能な空容器にできるだけ回収し、その後を多量の水を用いて洗い流す。洗い流す場合には、中性洗剤等の分散剤を使用して洗い流す。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い：

安全取り扱い注意事項

- ・火気に注意し、作業場は換気を十分に行う。取り扱いには適切な保護具を着用する。作業衣等に付着した場合はその汚れを落とし、取扱い後は、手洗いとうがいを十分に行う。
- ・この製品を拭き取ったウエス等は、速やかに焼却または廃棄する。

保管

適切な保管条件

- ・容器は密栓して、換気良好な冷暗所に貯蔵する。
- ・指定数量以上の場合は火災予防条例に従う。

8. 暴露防止および保護措置

設備対策：屋内作業時は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。

管理濃度および許容濃度

化学物質の名称	管理濃度	ACGIH	日本産業衛生学会
鉍油	—	5 mg/m ³ (オイルミスト)	3 mg/m ³ (オイルミスト)
コバルト及びその化合物	—	0.02 mg as Co/m ³	0.05 mg as Co/m ³

保護具：防塵マスク、保護眼鏡、耐油性保護手袋、保護衣、保護長靴等を使用する。

9. 物理的および化学的性質

製品の物理的および化学的性質

外観

形状：ペースト状

色：淡褐色

臭い：僅かな油臭

pH：該当しない

融点・凝固点：データ無し

沸点・初留点：250℃以上

沸騰範囲：データ無し

引火点：142℃以上

自然発火温度：約200～410℃（鉍油の推定値）

燃焼または爆発範囲：上限…約7% 下限…約1%（鉍油の推定値）

蒸気圧：データ無し

蒸気密度：データ無し

比重：0.8～1.0（25℃）

溶解性：水に難溶、有機溶剤に可溶

オクタノール／水分配係数：データ無し

分解温度：データ無し

成分の物理化学的性質

	沸点 (°C)	比重 (15°C)	水への 溶解性	相対 蒸気 密度	引火点 (°C)	発火点 (°C) [参考値]	爆発限界 (vol%) 推定値	logpow (オクタノール/ 水分解係数)	出典
鉍油	275～306	0.82	不溶	データ無	142	200～410	1～7	データ無	*

*：原材料のSDS

1 0 . 安定性および反応性

安定性・反応性：空気と反応して徐々に酸化重合する。廃棄するウエスは水をはった不燃性容器に入れ、蓋をして保管する。

危険有害な分解生成物：燃焼の際は、煙、一酸化炭素、窒素酸化物ガス等が生成される。

1 1 . 有害性情報

製品としての有害性情報：製品としての情報なし

成分の有害性情報（GHS分類結果）

成分	急性毒性 (経口) mg/kg	急性毒性 (経皮) mg/kg	急性毒性 (吸入:気体) mg/kg	急性毒性 (吸入:蒸気)	急性毒性 (吸入:粉塵) (吸入:ミスト)	皮膚腐食性 皮膚刺激性	眼に対する 重篤な損傷 眼刺激性
鉍油	区分外	区分外	分類対象外	区分外	分類対象外	区分外	区分外
コバルト及び その化合物	分類できない	分類できない	分類対象外	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

成分	呼吸器感作性 皮膚感作性	生殖細胞変 異原性	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器 ・全身毒性 (単回暴露)	特定標的臓器 ・全身毒性 (反復暴露)	吸引性呼吸 器有害性
鉍油	分類できない 区分外	区分外	区分外	区分外	区分外	区分外	区分1
コバルト及び その化合物	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

1 2 . 環境影響情報

製品としての環境影響情報：製品としての情報なし

成分の環境影響情報（GHS分類結果）

成分	水生環境有害性（急性）	水生環境有害性（慢性）
鉍油	区分外	区分外
コバルト及びその化合物	分類できない	分類できない

1 3 . 廃棄上の注意

- ・ドラム缶等に入れ、横転しても内容物が外部に流出しないように密栓する。
- ・焼却する場合は、産業廃棄物処理基準に従って焼却する。
- ・外部委託の場合は、廃油(可燃性)であることを明記し、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

1 4. 輸送上の注意

注意事項

- ・容器の漏れのないことを確かめ、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- ・消防法の危険等級Ⅲに準ずる運搬容器に収納して運搬する。

国連分類：国連分類の定義上、危険物に該当しない。

国連番号：該当なし

指針番号：1 3 3

1 5. 適用法令

- ・消防法：第2条危険物第4類第3石油類非水溶性液体危険等級Ⅲ
- ・労働安全衛生法：通知対象物
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律

1 6. その他

参考資料

- 1) ACGIH
- 2) 日本産業衛生学会
- 3) ICSC CARD
- 4) 神奈川県環境研究所データベース
- 5) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 GHS分類結果データベース
- 6) 原材料のSDS
- 7) 製品安全データシート作成指針（日本化学工業協会）2006年5月発行
- 8) 製品安全データシート作成資料改訂第3版 JIS Z7250-2005対応（印刷インキ工業連合会）
- 9) IARC

問い合わせ先

担当部門：研究部 電話番号：06-6458-1161（代）

記載内容の変更等

- ・この「安全データシート」は安全保証ではありません。
- ・取り扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実際に即した適切な処置を講じて下さい。
- ・記載内容は、法令の改正及び新しい知見に基づき予告なしに改訂される事があります。

本MSDSの該当製品

- ・G Pアプラス 多色機用O Pニス
- ・G Pアプラス 特耐摩O Pニス
- ・G Pアプラス 超耐摩O Pニス
- ・G Pアプラス ビニールグロス
- ・G Pアプラス ノンスリップ超光沢O Pニス
- ・G Pアプラス 98 ノンスリップO Pニス
- ・G Pアプラス 多色機用ON O Pニス
- ・G Pアプラス ON-T O Pニス
- ・G Pアプラス 耐摩クリアーO Pニス
- ・G Pアプラス 速乾 O Pニス
- ・G Pアプラス 多色機用耐摩ON O Pニス
- ・G Pアプラス スーパー耐摩クリアーO Pニス

以上